

「冠水センサ」について

近年、日本各地で発生している台風や大雨より、日本各地で甚大な水害が発生しています。局地的な集中豪雨により、短時間で浸水や冠水になるケースがあり、被害を食い止める対応が遅れがちになります。そんな浸水や冠水の被害を最小限に食い止めるソリューションが「冠水センサ」です。ミライト・ワンが提供する「冠水センサ」は、発生した冠水を検知し、リアルタイムに通知するため、床上浸水などの水害、冠水による被害を低減することが可能です。

ミライト・ワンが提供する「冠水センサ」は、災害発生時に状況把握、意思決定を行う自治体を対象に開発されたツールで、対象エリア内の冠水を現地に出向くことなく、リアルタイムに把握することが可能です。各地の水害の早期発見、被害の提言に貢献します。

この「冠水センサ」は、NOVARS 社の製品である電池型 IoT デバイス (MaBeee ML) を内蔵した冠水検知ユニットと MaBeee ML 管理コンソール (クラウドサービス) を利用したもので、フロート式センサ、中継基板 (パルス信号に変換)、IoT デバイス (Mabee ML) で構成しました。商用電源不要でリチウム電池 2 個で動作、フロート式センサによって水位の上昇を検知します。あらかじめ決められた水位を超えると、スマートフォンやタブレット、パソコンに警告メールが送信され、地図上にて状況が確認できます。

また、通信方式に LTE-M を採用しており、ドコモの通信圏内であれば、日本全国の幅広いエリアにセンサを設置し安定した監視環境を構築することが可能です。また、通信データは国内のクラウドサーバに蓄積されるため、自治体でも安心して活用できます。

また、浜松市が公募する令和 5 年度 Hamamatu ORI - Project (地域課題解決型) の課題テーマ 「正確な浸水及び道路冠水状況の把握」 に関して提案内容が採択されました。現在実装に向け検証を実施しています。

(2023 年 10 月現在)